

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2025
Jtitle	近代日本研究 (Journal of modern Japanese studies). Vol.41, (2024.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20240000-0350

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

執筆者紹介（掲載順）

中西 聡 なかにし さとし
慶應義塾大学経済学部教授

小川原正道 おがわらまことみち
慶應義塾大学法学部教授

橋口勝利 はしぐち かつとし
慶應義塾大学経済学部教授

三科 仁伸 みしな まさのぶ
拓殖大学商学部准教授

布施豪嗣 ふせ ぎゅうし
大東文化大学非常勤講師

白石大輝 しろいし だいき
桐蔭横浜大学法学部特任講師

末武美佐 すえ たけみさ
東京女子大学非常勤講師

山梨 淳 やまなし あつし

玉木寛輝 たま きひろき
慶應義塾大学
教養研究センター兼任講師

岩浪雛子 いわ なみひなこ
慶應義塾大学大学院
文学研究科後期博士課程

本巻では、慶應義塾福沢研究センター内に設置されている研究会の研究成果によって、「近代日本の地域社会・業界と慶應義塾——ローカル・リーダーの視点から——」と題する特集を組んだ。

近代日本において、慶應義塾からは多くのローカル・リーダーが輩出され、その系譜は現在まで継承されている。特集を構成する中西聡論文、小川原正道論文、橋口勝利論文、三科仁伸論文は、各地域の産業や政治を担ったリーダーに関する事例分析であり、布施豪嗣論文は、田中王堂が福沢諭吉から受容したミドルクラス論とその市民社会論を検討したものである。もとより、義塾に学び、地域のリーダーとなった人々はこれに限らないが、研究会のひとつの中間報告として学界に提供され、地域史や経済史などの発展に資するものとなれば幸いである。

公募論文には多くの投稿をいただき、厳格な審査の結果、論説三編、研究ノート一編、資料紹介一編が掲載されるにいたった。蓑田胸喜や柏木義円の福沢論から台湾における家畜検疫、在郷軍人の統制、日吉キャンパスの学食食器まで、テーマはさまざまだが、いずれも近代日本研究の発展に資する優れた実証研究である。特集論文とあわせて、ご寄稿いただいた皆様に御礼申し上げたい。巻末には、「福沢諭吉・小幡篤次郎関係新資料紹介」を掲載した。あわせて、ご参照いただきたい。

次巻は、二〇二六年二月に刊行予定である。論説、研究ノートなどの積極的な投稿を期待したい。